434 Pinhole collimator を用いた肝胆道 scintigraphy による早朝空腹時肝外胆汁排出動態の観察

高橋賢一，森　達也，佐々木睦男，小野慶一（弘前大　2外科），西沢一治（同　放射線科）

Pinhole collimator を用いた肝胆道 scintigraphy を施行し肝外胆汁排出動態を観察，若干の知見を得たので報告する。

健常 volunteer 25例を対象とし，うち7例には2回の観察を施行，動態の再現性を検討した。

方法は①本検査の数日前，^{99m}Tc-EHIDA 500 μCi を静注し，その30分後に総肝管，総胆管，胆嚢，十二指腸下行脚の像の解剖学的重複を最も回避できるよう pinhole collimatorの位置・角度を設定した。②早朝空腹時，①の位置に collimator を設定後 ^{99m}Tc-EHIDA 3mCi を静注，肝胆道 scintigraphyを施行し同時にdynamic data を60分間 computer に収集した。③総肝管，総胆管，胆嚢，十二指腸下行脚の dynamic curve を作成し検討した。

Analog image, dynamic curveを検討すると，十二指腸内RI排出陰性群，早期排出陽性群，胆嚢収縮による排出群，胆嚢への初期急速流入終了時排出群の4パターンにほぼ分類された。また7例中5例が2回の観察でパターンが異なり，早朝空腹時肝外胆汁排出動態は同一個人においても変化していることが示唆された。

435 先天性胆道閉鎖症の肝胆道シンチグラムと術後胆汁排泄量との関係

小川富雄，宮野　武（順大　児外）
長瀬勝也，荒川佳也，田中政義，三浦康平，
木村孝平，有村信一（順大，中放）

小児黄疸症例の鑑別診断にはＲＩ検査が重要な一方法である。我々も従来より小児の胆道疾患にＲＩ診断を実施しその有用性について報告を行って来た。

これ等の疾患の中で特に小児胆道閉鎖症については，ＲＩを使用し肝血流を測定し手術後における肝硬変症及び門脈圧亢進症等の早期発見に有用である事を報告した。

今回は先天性胆道閉鎖症の術後の胆汁排泄量の多い少いが本症の予後に関係する事より術前の肝胆道シンチグラムより術後の胆汁排泄が良いかわるいかを推測出来るかについて検討した。

その結果経時的肝胆道シンチグラムでＲＩの肝での分布が均一であるほど術後の胆汁排泄はよく又不均一の程度が高いものほど胆汁排泄がわるい事を知った。

更に最近の症例については術前時における検査ではシンチグラム作製と同時に注射後の一定時間データーを収録し術後の胆汁量と比較している。

長期観察症例では術後の胆汁排泄の少い症例では肝硬変症及び門脈圧亢進症に移行する症例が多かった。

436 内視鏡的逆行性胆汁ドレナージ（ＥＲＢＤ）における核医学胆道スキャンの有用性

多田　明，立野育郎，高仲　強（国立金沢　放射線科）米島正広，若林時夫（同　内科）

従来は核医学肝胆道スキャンの適応として，黄疸の鑑別や急性胆嚢炎の診断における有用性が強調されていたが，我が国においてはＣＴ，ＵＳ，ERCP，ＰＴＣなどの画像診断が優先して施行されているのが現状であるように思われる。核医学の側からは救急医療への対応と新しい適応の拡大を考慮する必要がある。

悪性腫瘍による閉塞性黄疸に対する手術前の減黄疸処置としては，従来専ら経皮的胆管ドレナージ（ＰＴＣＤ）が用いられてきたが近年内視鏡を使用した非手術的胆道内瘻または外瘻形成術の試みがなされるようになりその好結果が報告されている。

昭和５９年７月から当院内科で内視鏡的逆行性胆汁ドレナージ（ＥＲＢＤ）が行われるようになり，現在まで８例に１９回の肝胆道スキャンが行われたので，症例を提示してその診断的かつ治療における有用性について報告する。

437 胃癌における胆道シンチグラムよりみた再建術式の検討

小野寺　敦，渡辺　正，野々下浩治，有馬　昭（船橋医療セ　放射線科）
渡辺義二，佐藤裕俊（船橋医療セ　外科）

近年，胃癌に対する根治性治療は，安全な手術となっただけでなく，各種の術後愁訴つまり胃手術後の障害をほとんど起こさせないような術式の工夫がなされている。しかし我々はその中で，術後，胆のう・胆管結石を起こしやすくなるというところに注目をし，胆汁中に排泄され，非侵襲的検査である胆道系シンチグラムを術前，術後施行した。方法は，^{99m}Tc-EHIDA 5mCi を静注，経時的撮像と同時に，1 frame15秒，240 frameのデータ収集Hepatogramを作製する。左右肝管，総肝管，胆のう，総胆管，腸管にROI設定し，Time Activity Curveを得て，Tmax値，T½値を補正も加えて算出。これらを胃癌の術前，術後で胃切除範囲，再建術式別，リンパ節郭清の程度別に比較検討した。以上，再建術式と胆道シンチグラムの相関性について報告する。

Presented by Medical*Online